

006 コマンドとは？

A AutoCADで実行する命令のことです。

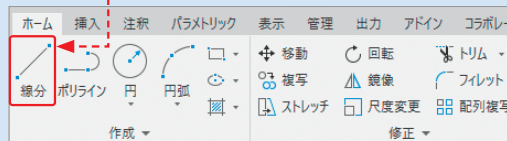
「コマンド」とは、AutoCADで実行する命令のことです。コマンドは、リボンからボタンをクリックするか、コマンド名をキーボードで入力し、**[Enter]** キーを押して実行します。

たとえば、線分のコマンド名は「LINE」なので、キーボードで「LINE」と入力し、**[Enter]** キーを押すと、線分コマンドが実行されます。コマンド名は大文字でも小文字でも問題ありません。

また、線分コマンドにはコマンドエイリアスというコマンド名のショートカットが登録されているので、「LINE」の代わりに「L」と入力して**[Enter]** キーを押すことにより、実行することも可能です。

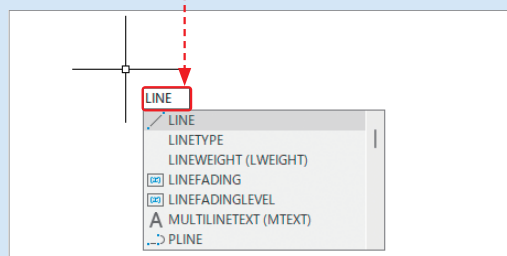
● リボンから実行する場合

「線分」をクリックします。



● コマンド名を入力する場合

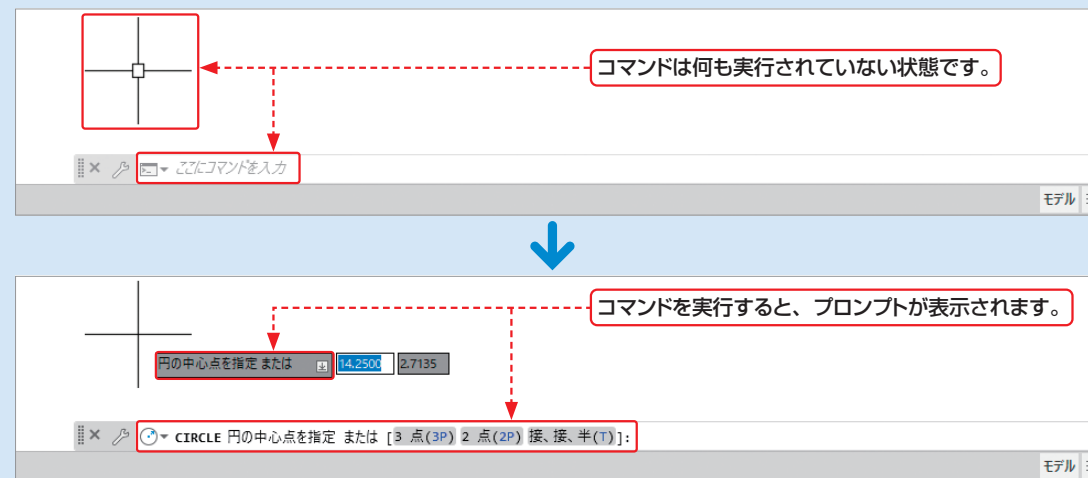
キーボードで「LINE」と入力し、**[Enter]** キーを押します。



007 プロンプトとは？

A AutoCADから表示されるメッセージです。

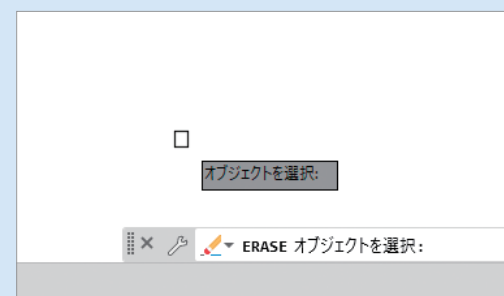
「プロンプト」とは、AutoCADがユーザーの入力を待っているときに表示されるメッセージのことです。AutoCADはユーザーにさまざまな要求を行うので、プロンプトに応えることにより、コマンドが実行されます。プロンプトは、カーソルの近くのツールチップやコマンドウィンドウに表示されます。



008 オブジェクトとは？

A AutoCADの図形のことです。

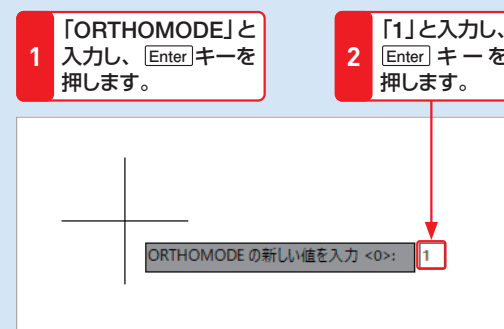
「オブジェクト」とはAutoCADの図形のことです。作図領域に表示されるすべてのものをオブジェクトといいます。たとえば、プロンプトに「オブジェクトを選択」と表示された場合は、「図形を選択」という意味になります。



009 システム変数とは？

A キーボードでAutoCADの設定を変更する方法です。

「システム変数」とは、動作環境や作図環境などに関する設定を行う数値や文字などの値です。たとえば直交モードのシステム変数は「ORTHOMODE」で、オンにする場合の値は「1」になります。

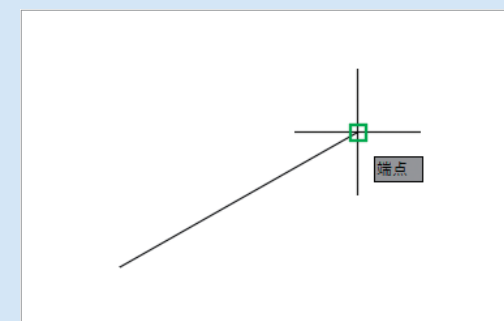


010 オブジェクトスナップとは？

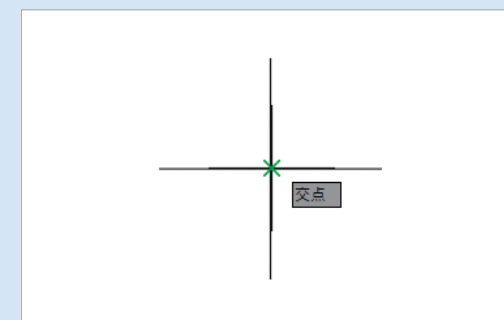
A 図形上の点の位置を指定する方法です。

「オブジェクトスナップ」とは、図形上の点(端点や交点、中心など)の位置を正確に指定する方法です。「O(オー)スナップ」と省略されることもあります。

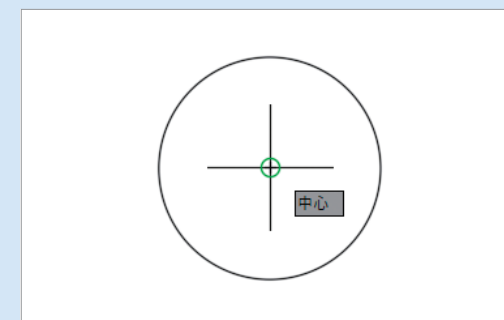
端点：線分や円弧の両端点



交点：線分や円弧の交差点



中心：円や円弧の中心点

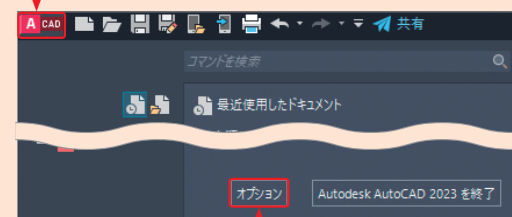


Q 040 作図領域の背景色を変更したい!

A [オプション]で共通の背景色を設定します。

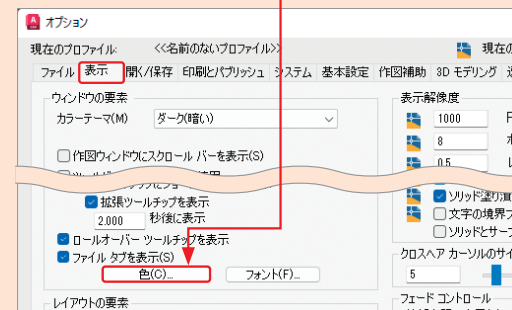
作図領域の背景色を変更するには、[アプリケーションメニュー]から[オプション]を実行し、共通の背景色を設定します。3Dで表示したときの背景色を変更するには、手順4で[3D 平行投影]の[共通の背景色]を選択します。

1 [アプリケーションメニュー]をクリックし、

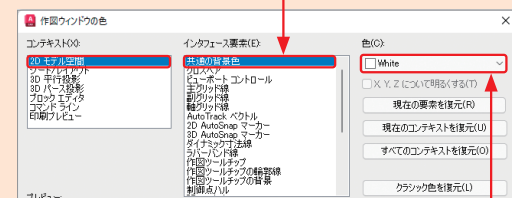


2 [オプション]をクリックします。

3 [表示]タブの[色]ボタンをクリックします。



4 [2Dモデル空間]の[共通の背景色]をクリックし、



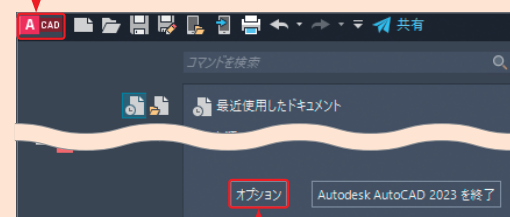
5 [色]を変更し、[適用して閉じる]をクリックします。

Q 041 リボンの背景色を変更したい!

A [オプション]でカラーテーマを設定します。

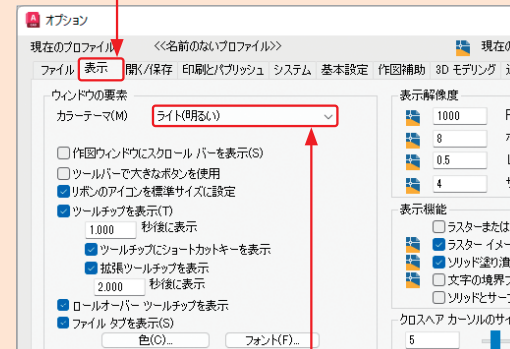
リボンの背景色を変更するには、[アプリケーションメニュー]から[オプション]を実行し、カラーテーマを設定します。

1 [アプリケーションメニュー]をクリックし、



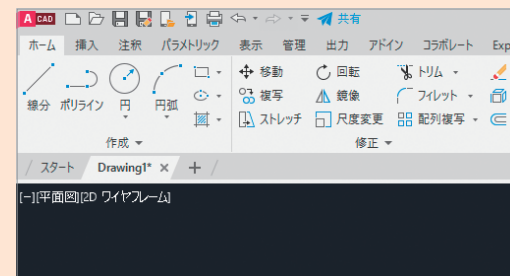
2 [オプション]をクリックします。

3 [表示]タブをクリックし、



4 [カラーテーマ]を選択し、[OK]をクリックします。

5 リボンの背景色が変更されます。

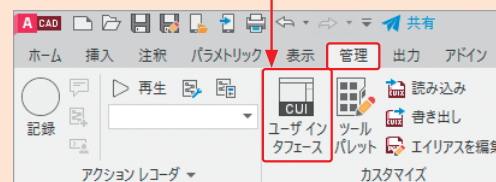


Q 042 よく使うリボンパネルを画面に配置したい!

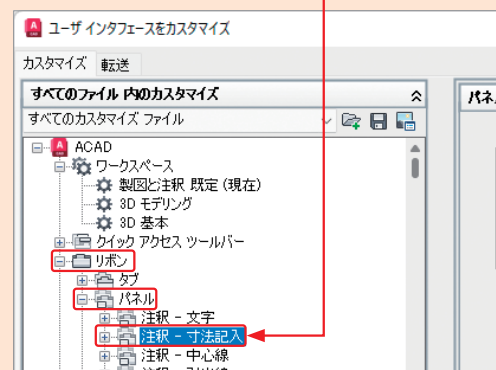
A [ユーザ インタフェース]で設定します。

よく使うリボンパネルをリボンタブに配置したい場合は、[ユーザ インタフェース]で設定します。

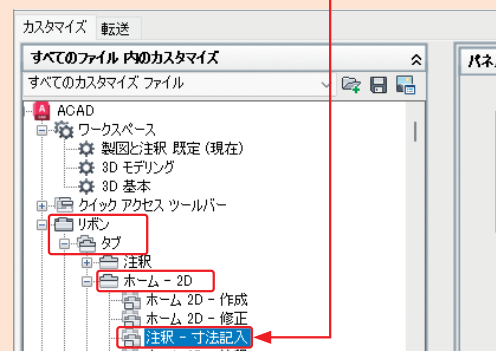
1 [管理]タブの[ユーザ インタフェース]をクリックします。



2 追加したいリボンパネルを[リボン]の[パネル]を展開して、探します。



3 追加したいリボンタブを展開し、手順2のリボンパネルをドラッグ&ドロップします。

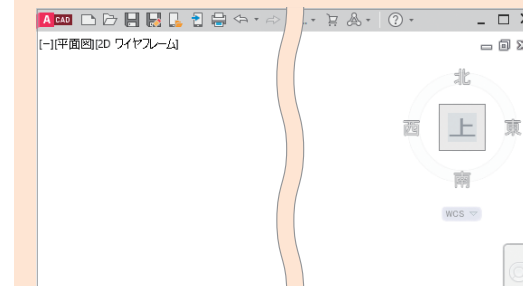


Q 043 リボンが消えてしまった!

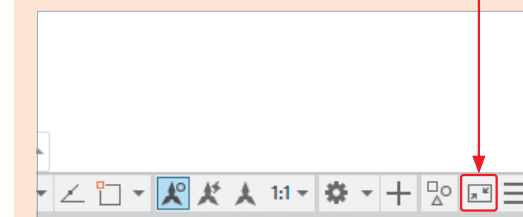
A [フルスクリーン表示]を確認します。

リボンが画面から消えてしまった場合は、ステータスバーの[フルスクリーン表示]を確認します。[フルスクリーン表示]がオンになっていると、リボンが非表示になります。

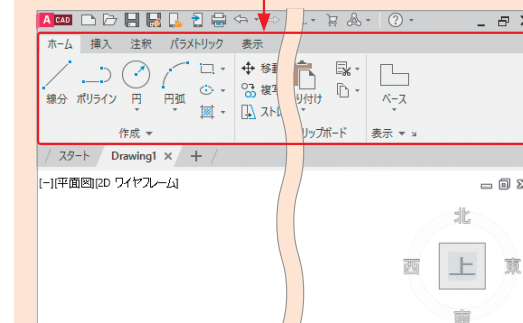
リボンが画面から消えています。



1 ステータスバーの[フルスクリーン表示]をクリックします。



2 リボンが表示されます。



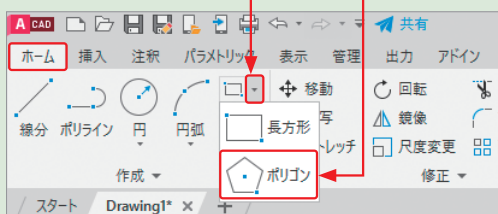
Q 100 円の内側に正多角形を作成したい!

A [ポリゴン]の[内接]オプションを使用します。

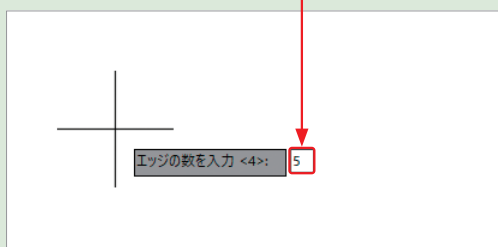
円の内側に正多角形を作成したい場合は、[ポリゴン]の[内接]オプションを使用し、円の中心点と半径を指定します。また、[外接]オプションを使用すると、円に接する正多角形を作成することができます。

サンプル▶ 100.dwg

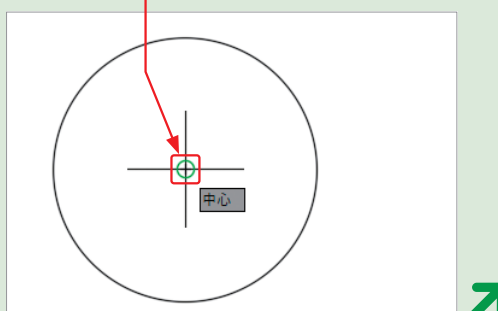
- 1 [▼]をクリックします。
- 2 [ポリゴン]をクリックします。



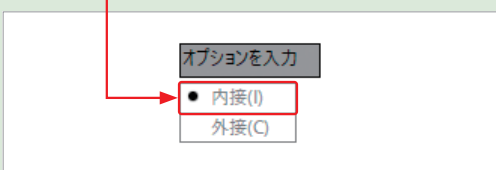
- 3 多角形の辺の数を入力し(ここでは「5」)、[Enter]キーを押します。



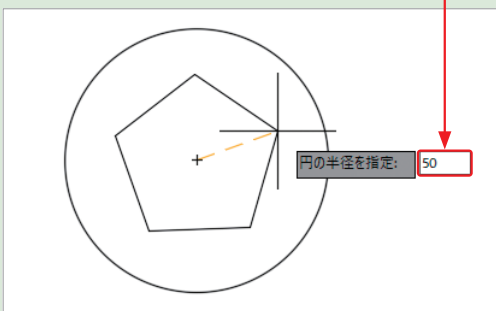
- 4 円の中心点をクリックします。中心のオブジェクトスナップが表示されない場合は、円周上にカーソルを当ててください。



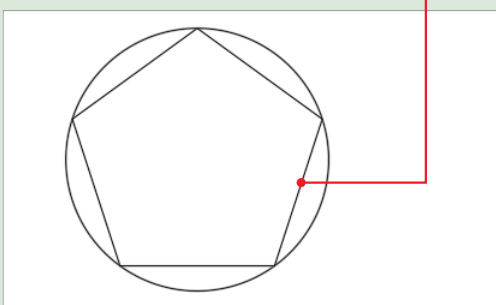
- 5 [内接]をクリックして選択します。



- 6 円の半径を入力し(ここでは「50」を入力)、[Enter]キーを押します。

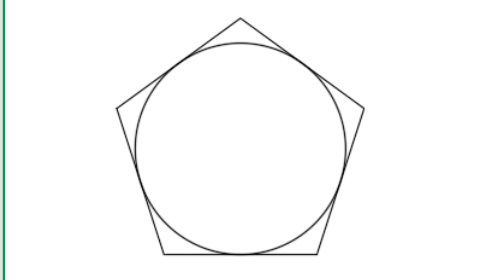


- 7 円の内側に正五角形を作成することができます。



[外接] オプション

[外接]オプションを使用した場合は、円に接する正多角形を作成することができます。



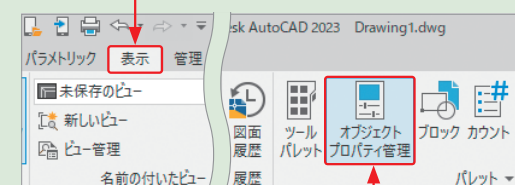
Q 101 長方形や多角形を太く表示したい!

A プロパティパレットの[グローバル幅]を変更します。

長方形や多角形を太く表示したい場合は、プロパティパレットでポリラインのプロパティである[グローバル幅]を変更します。既定値は「0」になっています。

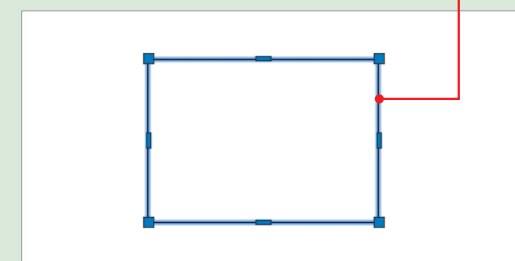
サンプル▶ 101.dwg

- 1 [表示]タブをクリックします。

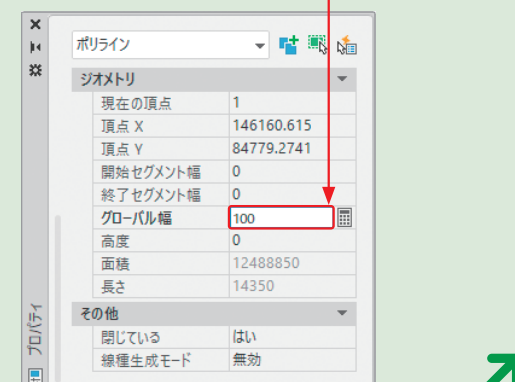


- 2 [オブジェクトプロパティ管理]をクリックしてオンにします。

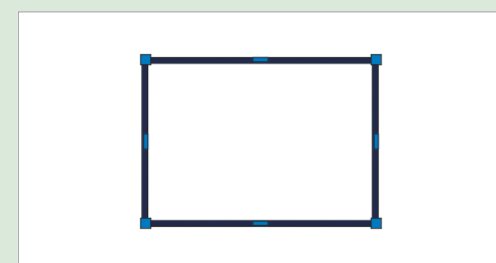
- 3 長方形(ポリライン)をクリックして選択します。



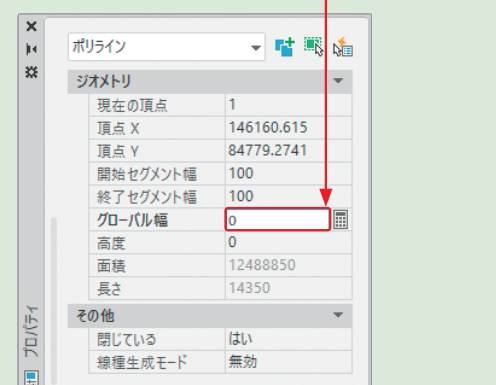
- 4 [グローバル幅]を入力し(ここでは「100」)、[Enter]キーを押します。



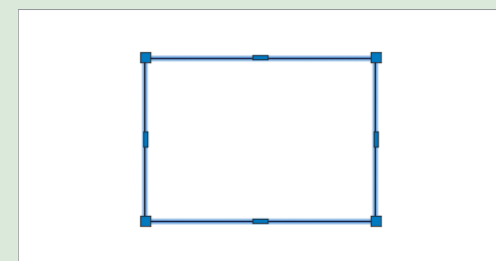
- 5 グローバル幅が適用され、太く表示されます。



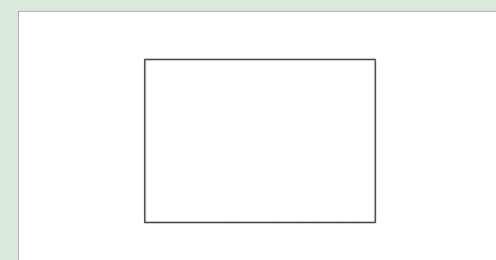
- 6 元に戻す場合は、[グローバル幅]に「0」を入力し、[Enter]キーを押します。



- 7 太さが元に戻ります。



- 8 [Esc]キーを押して選択を解除します。



表示

重要度

Q

151

図形を一部だけ
隠したい!

A

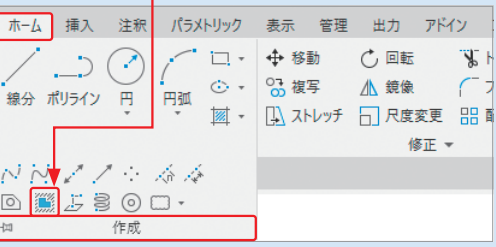
[ワイプアウト]を実行します。

図形を一部だけ隠したい場合は、あらかじめ隠す場所にポリラインを作成し、[ワイプアウト]を実行します。境界線は非表示にすることができますが、選択できなくなるので注意してください。

サンプル▶ 151.dwg

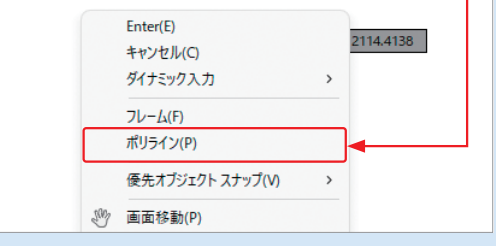
1

[作成▼]→[ワイプアウト]をクリックします。



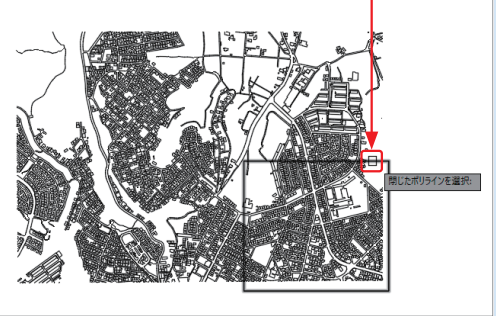
2

作図領域を右クリックし、メニューから[ポリライン]を選択します。



3

ポリラインをクリックします。



4

「ポリラインを削除しますか?」と表示されます。



5

[はい]をクリックします。

6

ワイプアウト図形が作成され、一部が隠れます。

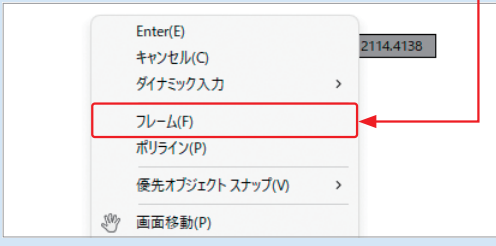


7

[ワイプアウト]をクリックします。

8

作図領域を右クリックし、メニューから[フレーム]を選択します。



9

[非表示]をクリックすると、境界線が非表示になります。



表示

重要度

Q

152

図形が重なって
見えない!

A

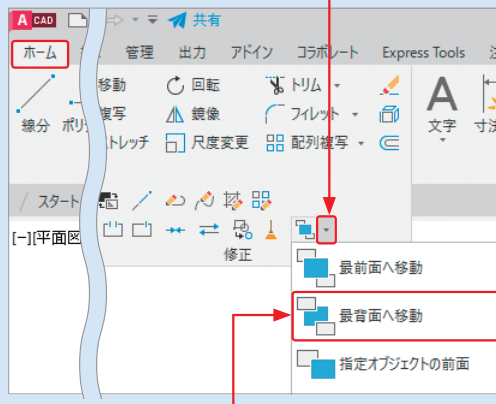
図形の表示順序を変更します。

図形が重なって見えない場合は、[最前面へ移動][最背面へ移動]などを実行し、表示順序を変更します。

サンプル▶ 152.dwg

1

[修正▼]→[▼]をクリックし、

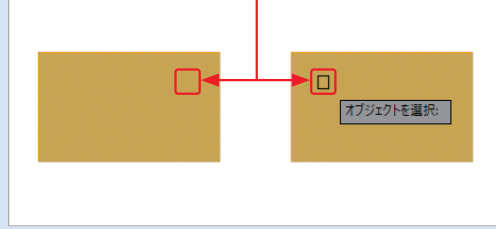


2

[最背面へ移動]をクリックします。

3

最背面へ移動する図形を選択します。



4

[Enter]キーを押して、
選択を確定します。

5

選択した図形が最背面へ移動します。
ここでは、隠れていた文字が見えるようになります。

A

B

Q

153

ハッチングに隠れて
図形が見えない!

A

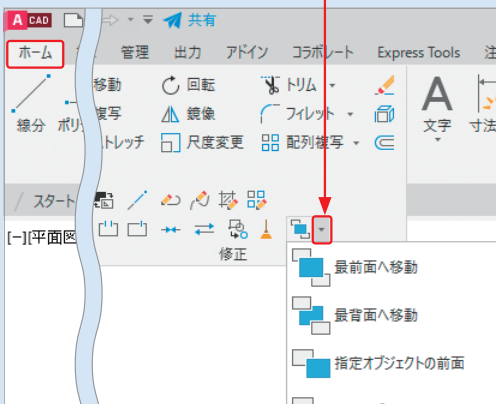
図形の表示順序を変更します。

ハッチングに隠れて図形が見えない場合は、[ハッチングを背面に移動]を実行し、表示順序を変更します。

サンプル▶ 153.dwg

1

[修正▼]→[▼]をクリックし、



2

[ハッチングを背面に移動]を
クリックします。

3

ハッチングが最背面に移動します。
ここでは、隠れていた文字が見えるようになります。

A

B

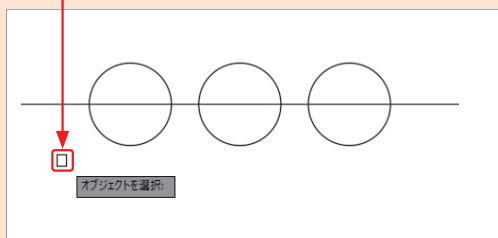
Q 165 自由な形状で囲って図形を選択したい!

A 領域をドラッグして囲んで投げ縄選択をします。

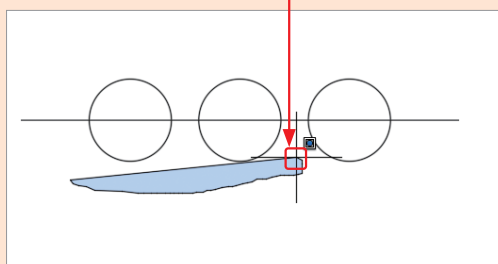
自由な形状で囲って図形を選択するには、領域をドラッグして囲んで、投げ縄選択をします。また、窓／交差は、[Space] キーを押すと切り替えることができます。

サンプル▶ 165.dwg

1 選択する図形の左側でドラッグを開始します。

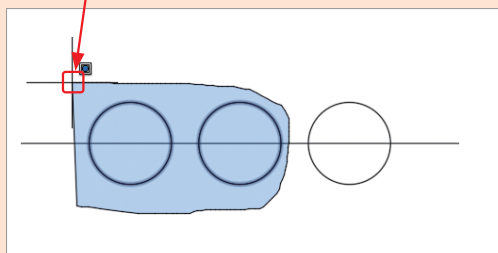


2 右側にドラッグすると、領域が青く表示されます。

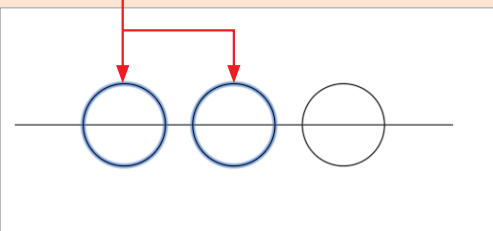


3 領域が青くならない場合は、[Space] キーを押して、窓と交差を切り替えます。

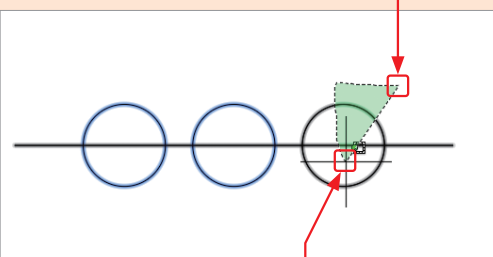
4 選択する図形が領域に完全に入る位置でマウスを離します。



5 領域に完全に入っている図形が選択されます。

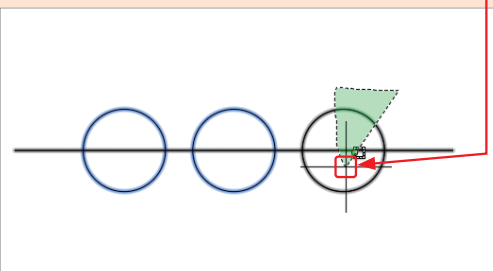


6 選択する図形の右側でドラッグを開始します。

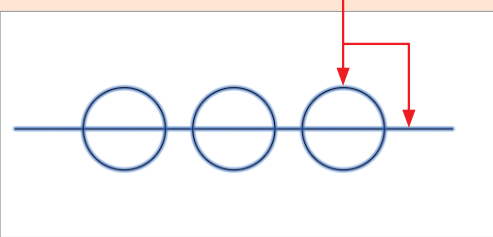


7 カーソルを左側に動かすと、領域が緑で表示されます。領域が緑にならない場合は、[Space] キーを押して、窓と交差を切り替えます。

8 選択する図形が領域に一部でも入る位置でマウスを離します。



9 領域に一部でも入っている図形が選択されます。



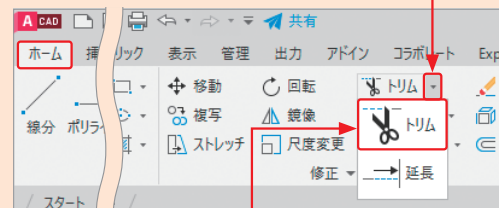
Q 166 こまかい場所の図形を選択したい!

A 「フェンス選択」をします。

こまかい場所を選択するには、線で図形を選択する「フェンス選択」をします。フェンス選択は[トリム]コマンドで図形を切り取る場合に活用するとよいでしょう。

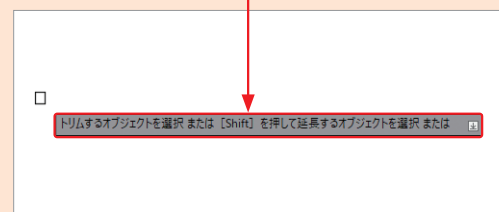
サンプル▶ 166.dwg

1 [▼] をクリックし、

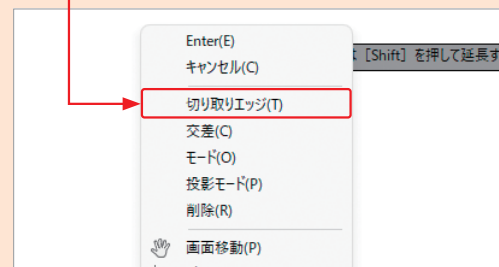


2 [トリム] をクリックします。

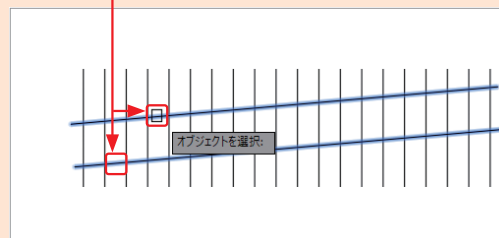
3 「トリムするオブジェクトを選択・・・」と表示されている場合は、右クリックします。



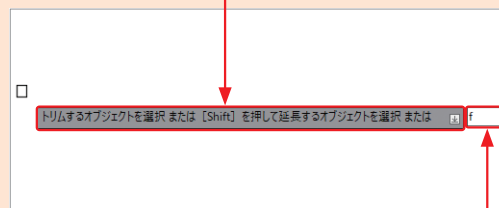
4 [切り取りエッジ] を選択します。



5 切り取りの基準の図形を選択し、[Enter] キーを押して確定します。

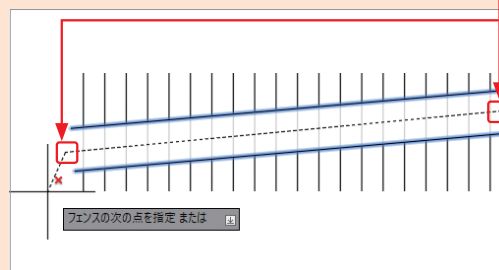


6 「トリムするオブジェクトを選択」と表示されます。



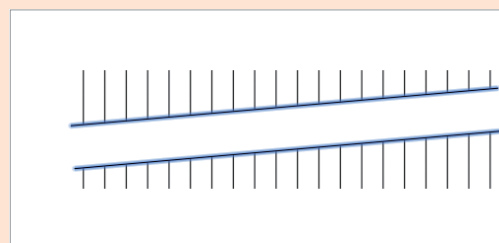
7 「f」と入力し、[Enter] キーを押します。

8 図形を選択するフェンス線分をクリックで作成します。



9 [Enter] キーでフェンス線分の作成を確定します。

10 フェンス線分上の図形が選択され、切り取られます。



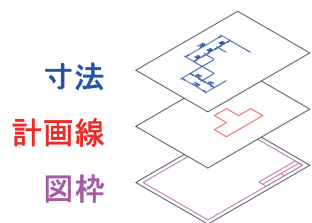
11 [Enter] キーを押して[トリム]を終了します。

Q 183 画層とは？

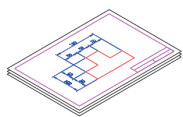
A 図形をグループ分けした層のことです。

「画層」とは、透明なシートの層をイメージするもので「レイヤ」とも呼ばれます。寸法／計画線／図枠などの図形要素を管理しやすいように、層ごとに作図することで、色や線種、線の太さの設定や、表示／非表示を画層別に制御することができます。

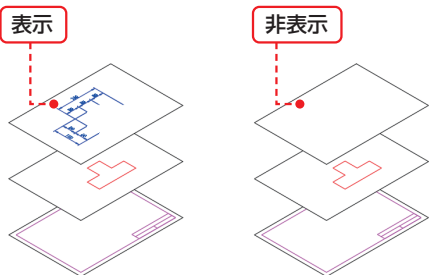
要素ごとに画層を分けて作図します。



画層をすべて重ねて完成図面とするイメージです。



画層ごとに表示／非表示を制御できます。

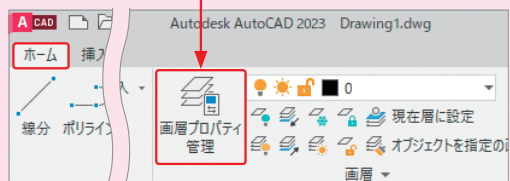


Q 184 画層を新規作成したい！

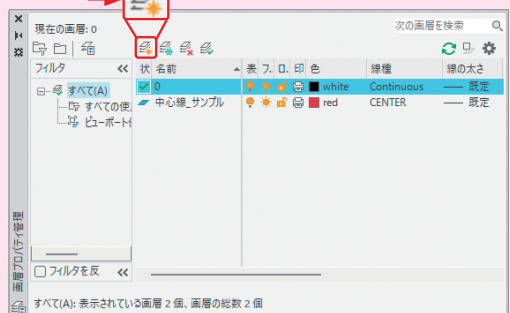
A [画層プロパティ管理]の[新規作成]を実行します。

画層を新規作成するには、[画層プロパティ管理]の[新規作成]を実行し、名前や色、線種などを設定します。
参照▶Q 210 サンプル▶184.dwg

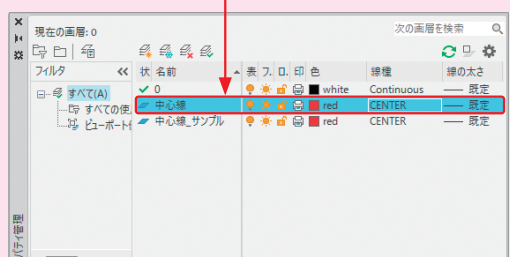
1 [画層プロパティ管理]をクリックします。



2 [新規作成]をクリックします。



3 画層の名前、色、線種、線の太さなどを設定します。

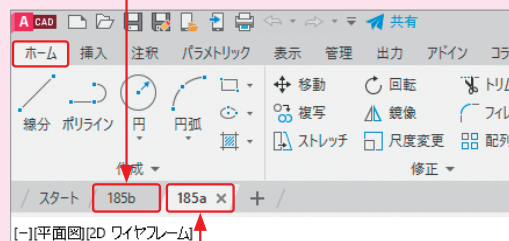


Q 185 ほかの図面の画層をコピーしたい！

A [DesignCenter]を使用します。

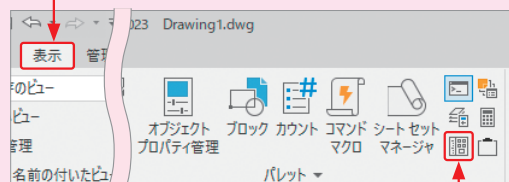
ほかの図面の画層をコピーするには、コピー元の図面を開き、[DesignCenter]を使用して画層を追加します。
サンプル▶185a.dwg, 185b.dwg

1 コピー元のファイルを開きます。



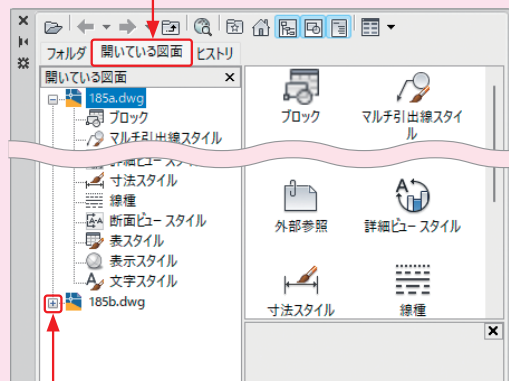
2 コピー先のファイルを表示します。

3 [表示]タブをクリックします。



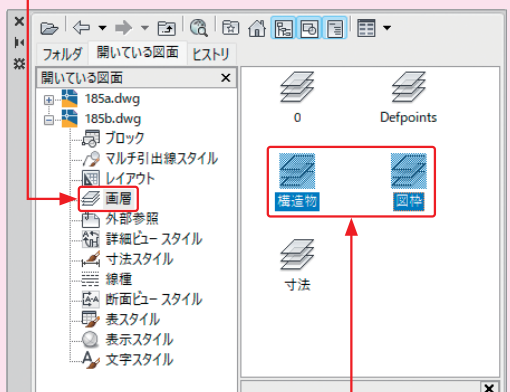
4 [DesignCenter]をクリックしてオンにします。

5 [開いている図面]をクリックします。



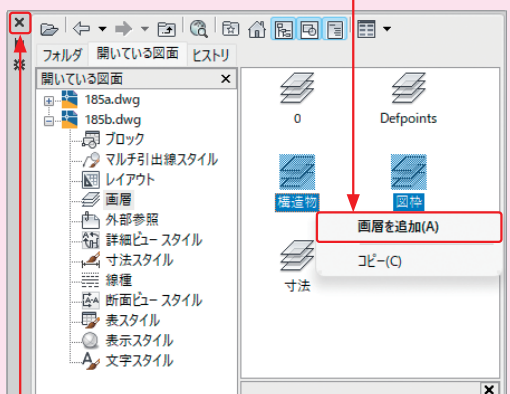
6 コピー元ファイルの[+]をクリックします。

7 [画層]をクリックします。



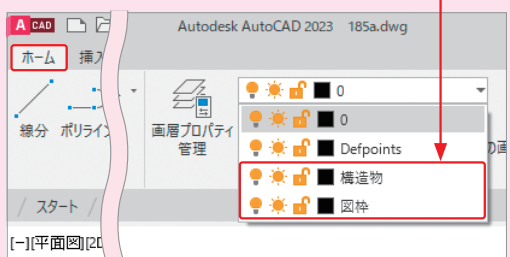
8 追加したい画層を選択します。

9 右クリックメニューから、[画層を追加]を選択します。



10 [X]をクリックして、[DesignCenter]を閉じます。

11 画層が追加されます。



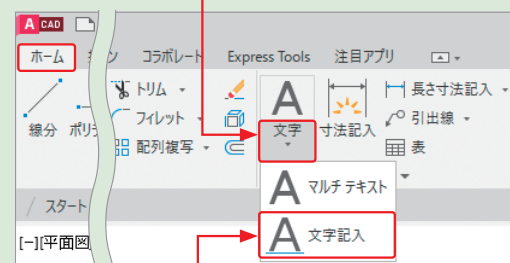
Q 218 1行の文字を作成したい!

A [文字記入]を実行します。

1行の文字を作成するには、[文字記入]を実行し、基準点、大きさ、記入方向を入力します。

参照▶Q 224 サンプル▶218.dwg

1 [文字▼]をクリックし、

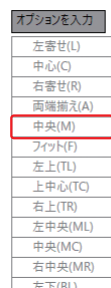


2 [文字記入]をクリックします。

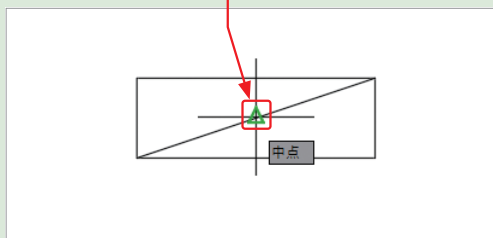
3 作図領域を右クリックし、メニューから[位置合わせオプション]を選択します。



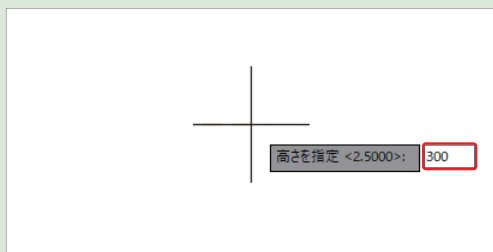
4 文字の基準点を選択します(ここでは[中央(M)])。



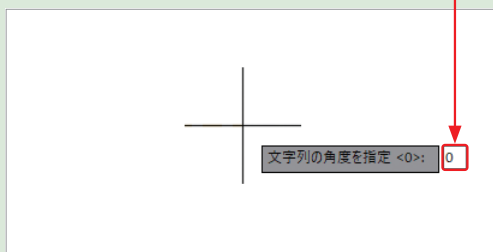
5 基準となる位置をオブジェクトスナップで(ここでは中点)クリックします。



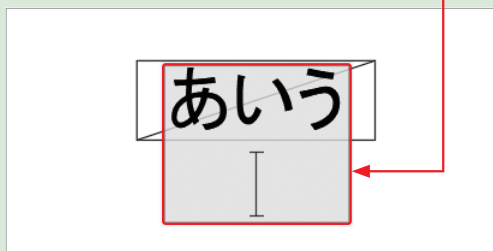
6 大きさを入力し(ここでは「300」)、[Enter]キーを押します。



7 記入方向を角度で入力し(ここでは「0」)、[Enter]キーを押します。



8 文字を入力して[Enter]キーを押して改行します。



9 もう一度[Enter]キーを押して、[文字記入]を終了します。

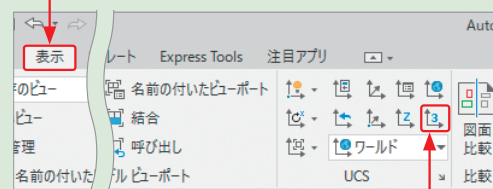
Q 219 図形に沿って斜めの文字を作成したい!

A UCS(ユーザ座標系)でXY軸を変更します。

斜め方向に文字を作成したい場合は、UCS (ユーザ座標系)でXY軸を変更して作成します。

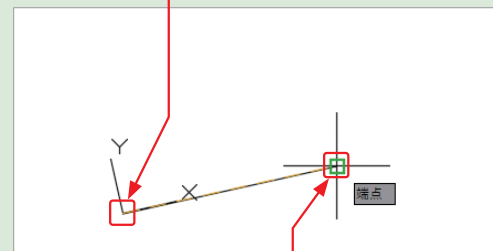
参照▶Q 053,218 サンプル▶219.dwg

1 [表示]タブをクリックします。

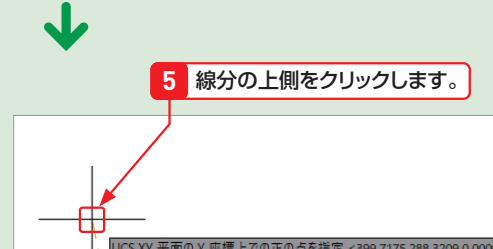


2 [3点]をクリックします。

3 線分の左の端点をクリックします。



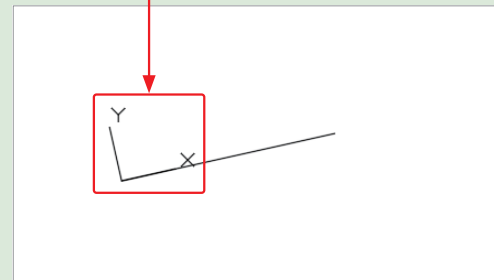
4 線分の右の端点をクリックします。



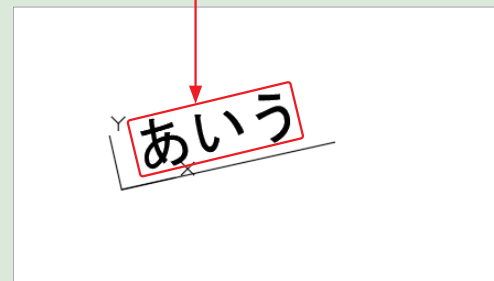
5 線分の上側をクリックします。



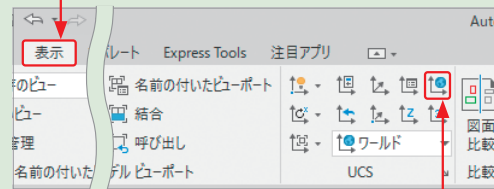
6 XY軸が設定されます。



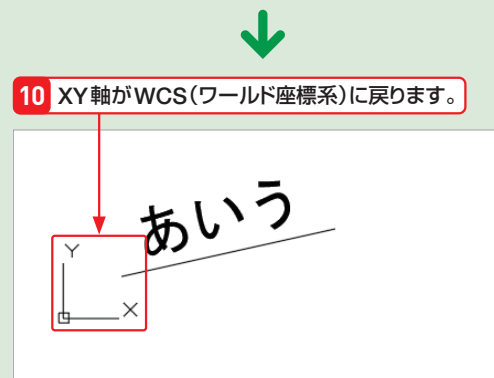
7 文字を作成します。



8 [表示]タブをクリックします。



9 [ワールド]をクリックします。



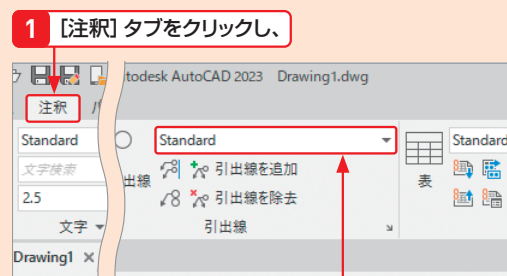
10 XY軸がWCS(ワールド座標系)に戻ります。

277 作成する引出線のスタイルを設定したい!

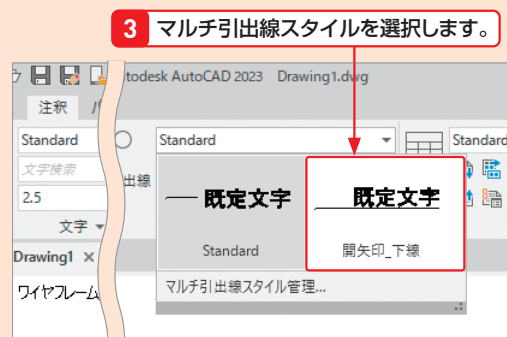
A [マルチ引出線スタイル]を設定します。

マルチ引出線スタイルを設定するには、引出線を作成する前に、[マルチ引出線スタイル]から選択します。その際、マルチ引出線スタイルはあらかじめ作成しておく必要があります。

サンプル▶ 277.dwg



2 [マルチ引出線スタイル]をクリックします。



4 マルチ引出線スタイルが設定されます。



5 [引出線]を実行し、引出線を作成します。

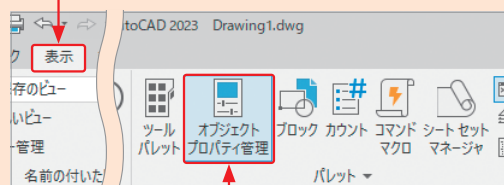
278 作成した引出線のスタイルを変更したい!

A プロパティパレットの[マルチ引出線スタイル]を変更します。

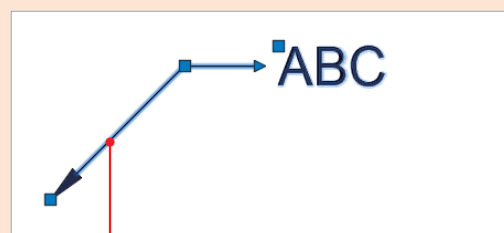
マルチ引出線スタイルを変更するには、コマンドが実行されていない状態で引出線を選択し、[マルチ引出線スタイル]から選択します。

サンプル▶ 278.dwg

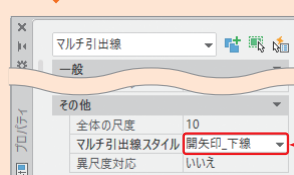
1 [表示] タブをクリックし、



2 [オブジェクトプロパティ管理]をクリックしてオンにします。

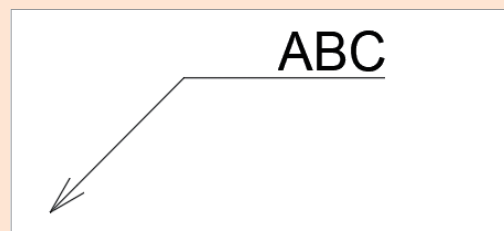


3 引出線を選択し、



4 [マルチ引出線スタイル]を変更します。

5 [Esc]キーを押して、引出線を選択を解除します。



6 マルチ引出線スタイルが変更されます。

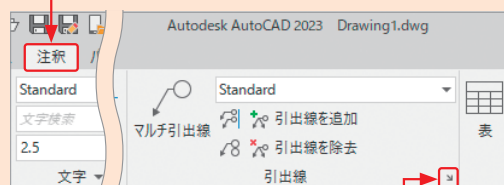
279 用途別に引出線の設定をしたい!

A 用途別のマルチ引出線スタイルを作成します。

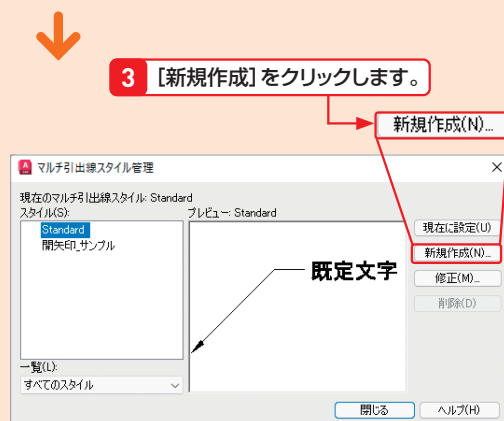
用途別に引出線の設定をしたい場合は、用途別のマルチ引出線スタイルを作成します。ここでは、矢印の種類別にマルチ引出線スタイルを作成してみます。

サンプル▶ 279.dwg

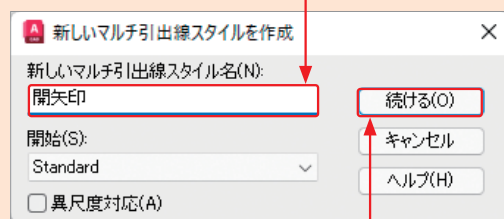
1 [注釈] タブをクリックし、



2 [マルチ引出線スタイル管理]をクリックします。



4 [新しいマルチ引出線スタイル名]を入力し(ここでは「開矢印」)、



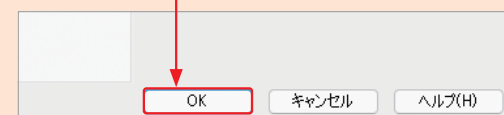
5 [続ける]をクリックします。

6 [引出線の形式]タブをクリックし、

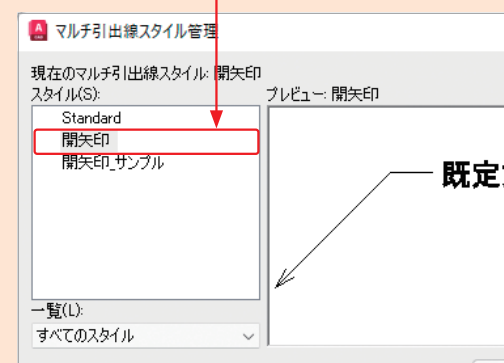


7 [記号]から矢印の種類を選択します(ここでは「30度開矢印」)。

8 [OK]をクリックします。



9 マルチ引出線スタイルが作成されます。



10 [閉じる]をクリックします。



11 用途別のマルチ引出線スタイルが作成されます。

12 マルチ引出線スタイルを設定し、引出線を作成します。

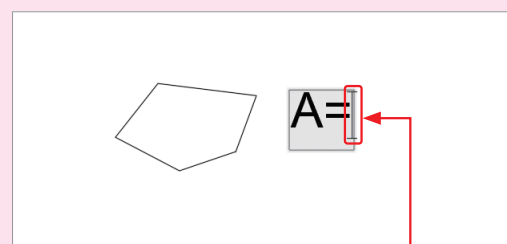
Q 308 図形の長さや面積を文字で記入したい!

A 文字にフィールドを作成して図形の長さや面積を取得します。

図形の長さや面積を文字で記入するには、文字にフィールドを作成します。フィールドで長さや面積を取得できるポリラインなどを指定することにより、計測値を自動的に文字に記入することができます。

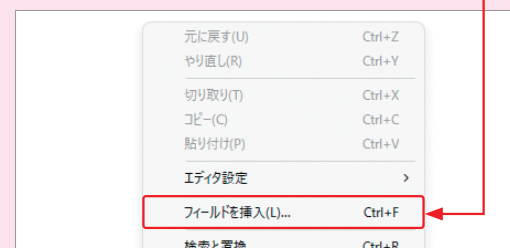
参照▶ Q 309 サンプル▶ 308.dwg

1 文字の作成や編集を実行し、文字を記入する操作まで進めます。

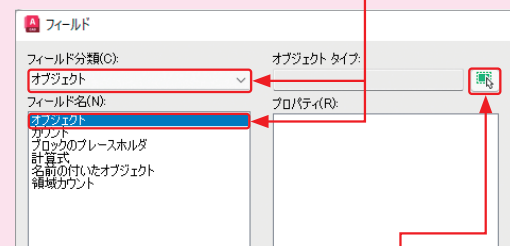


2 カーソルが点滅しています。

3 右クリックし、[フィールドを挿入]を選択します。

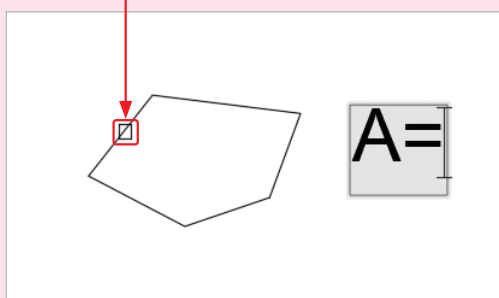


4 [オブジェクト]を選択し、



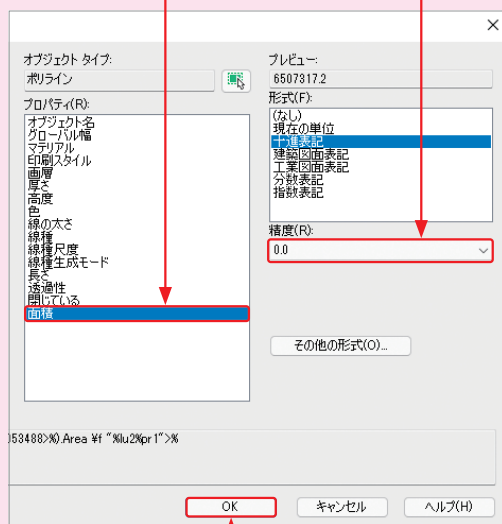
5 [オブジェクトを選択]をクリックします。

6 ポリラインなどをクリックして選択します。



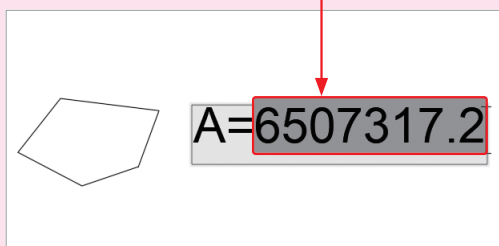
7 [面積]を選択し、

8 小数点の桁数を選択します。



9 [OK]をクリックします。

10 文字にフィールドが作成され、面積が自動的に記入されます(サンプルファイルでは、単位は平方ミリメートル)。



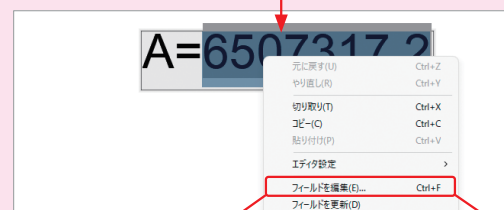
Q 309 フィールドの値をメートル単位にしたい!

A [その他の形式]から[変換単位]を設定します。

ミリメートル単位で書かれている図形を、フィールドでメートル単位にしたい場合は、ダイアログで[その他の形式]から[変換単位]を設定します。

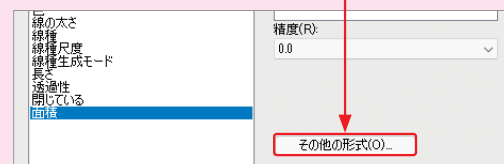
サンプル▶ 309.dwg

1 文字の編集を実行し、フィールドを右クリックして、

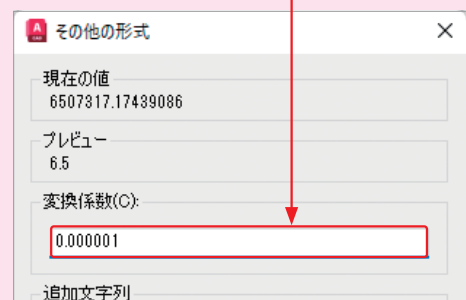


2 [フィールドを編集]を選択します。

3 [その他の形式]をクリックします。



4 [変換単位]に値を入力し(ここでは平方メートルにしたいので、「0.000001」)、[OK]をクリックします。



5 [OK]をクリックし、[フィールド]のダイアログを閉じると、フィールドの値がメートル単位で表示されます。

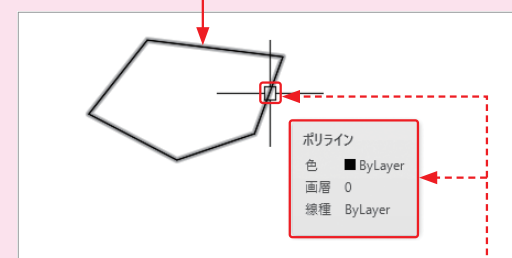
Q 310 図心を取得して作図したい!

A ポリラインを作図してオブジェクトスナップの[図心]を設定します。

図心を取得して作図を行うには、図心を取得する図形をポリラインで作図し、オブジェクトスナップの[図心]を設定します。

サンプル▶ 310.dwg

1 図心を取得する図形をポリラインで作図します。



2 作図のコマンドを実行します。

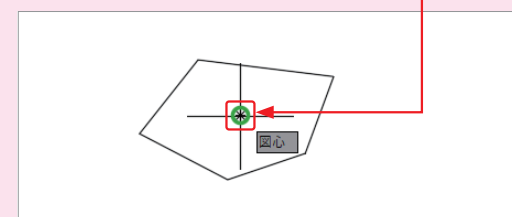
カーソルを図形に重ねるとプロパティが表示されます。

3 [Shift]キーを押しながら右クリックし、優先オブジェクトスナップのメニューを表示します。



4 [図心]をクリックします。

5 カーソルをポリラインに近づけると、[図心]のオブジェクトスナップが取得できます。



A 画層や図形の色をRGB色からイン
デックスカラーに変更します。

参照 ▶ Q 369 サンプル ▶ 370.dwg

2 RGB色をクリックします。

4 印刷を実行すると、黒で印刷されます。

A [印刷スタイルを使って印刷]にチェックを入れます。

サンプル▶ 371.dwg

2 [印刷] をクリックします。

4 [プレビュー] をクリックします。

A [透過性を印刷] にチェックを入れます。

サンプル ▶ 372.dwg

2 [印刷] をクリックします。

4 [プレビュー] をクリックします。

A [線の太さを印刷に反映]にチェックを入れます。

サンプル ▶ 373.dwg

2 [印刷] をクリックします。

4 [プレビュー] をクリックします。